

# 路線バス利用者アンケート調査結果【概要版】

## 1. 調査概要

- 本調査は、稲美町を運行する路線バスの利用者に対し、移動目的や路線バス利用時の問題点などをヒアリングすることで、地域公共交通計画策定の基礎データとすることを目的として実施した。
- 回収数は、「土山駅～上新田北口線」が522票、「土山駅～母里線」が319票、「加古川駅～上新田北口線」が130票、「加古川駅～稲美町役場前・六甲バター北線」が30票で、計1,001票となっている。

### < 調査概要 >

#### ●調査日時

- 1回目：令和3年6月29日（火）5：30～17：00
- 2回目：令和3年7月13日（火）17：00～22：30
- ※ 6月29日（火）に車両事故により17時頃から一部区間において通行規制が発生したため、7月13日（火）に再調査を実施

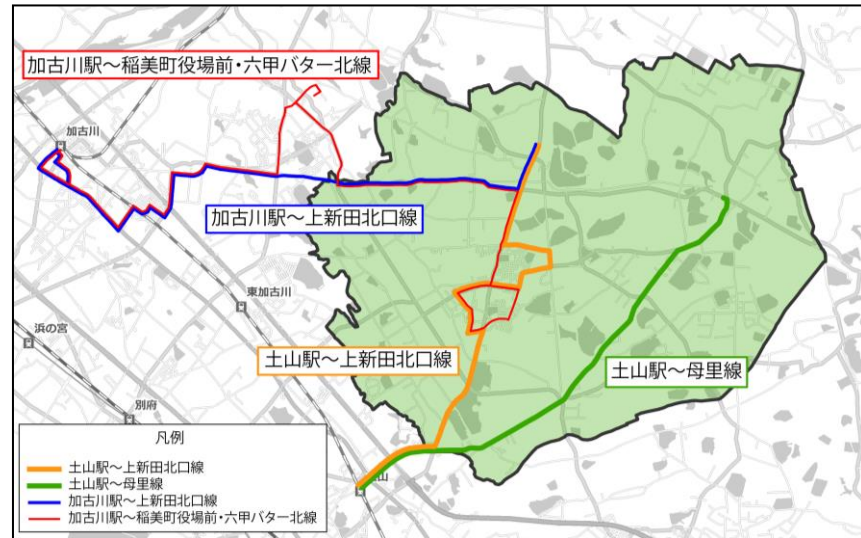
#### ●調査場所

路線バス車内

#### ●調査方法

- 調査員が車両に乗り込み、当該バス利用者に対してヒアリング
- 始発から終発までの全便を調査

### < 路線バスの概要 >



系統名	運行日	運行時間	運行本数 (便数)
土山駅～上新田北口線*	毎日	5：47～22：20	41本
土山駅～母里線	毎日	6：20～21：20	35本
加古川駅～上新田北口線	毎日	6：20～21：00	18本
加古川駅～稲美町役場前・六甲バター北線	毎日	9：06～11：20	4本

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、22時30分以降の2便を運休

稲美町内を運行する全4系統を調査

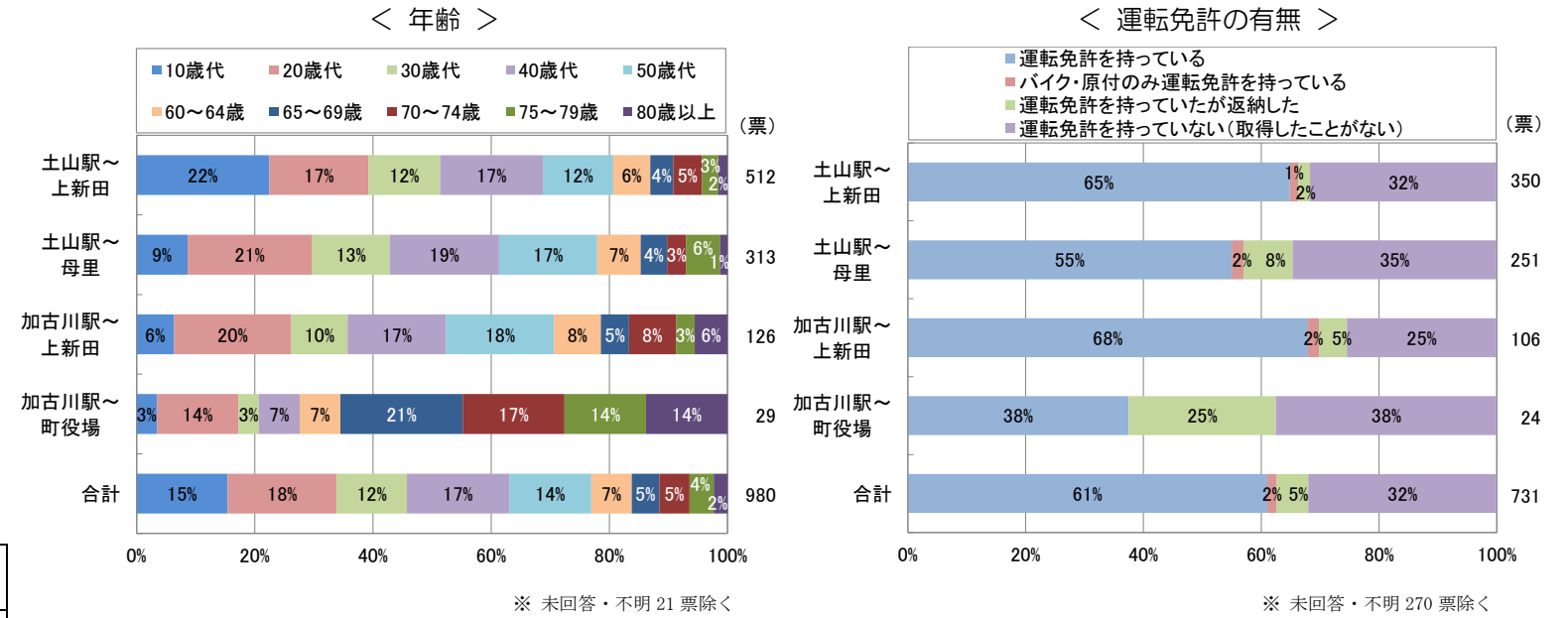
### < 系統別の回収状況 >

系統名 (正式名称)	系統名 (略称)	回収数 (票)	構成比 (%)	参考	
				令和2年 年間利用者数 (人/年)	令和2年 1日当たり利用者数 (人/日) [年間利用者数/365日]
土山駅～上新田北口線	土山駅～上新田	522	52%	185,075	507
土山駅～母里線	土山駅～母里	319	32%	122,589	336
加古川駅～上新田北口線	加古川駅～上新田	130	13%	49,424	135
加古川駅～稲美町役場前・六甲バター北線	加古川駅～町役場	30	3%	8,511	23
合計		1,001	100%	365,599	1,002

## 2. 調査結果

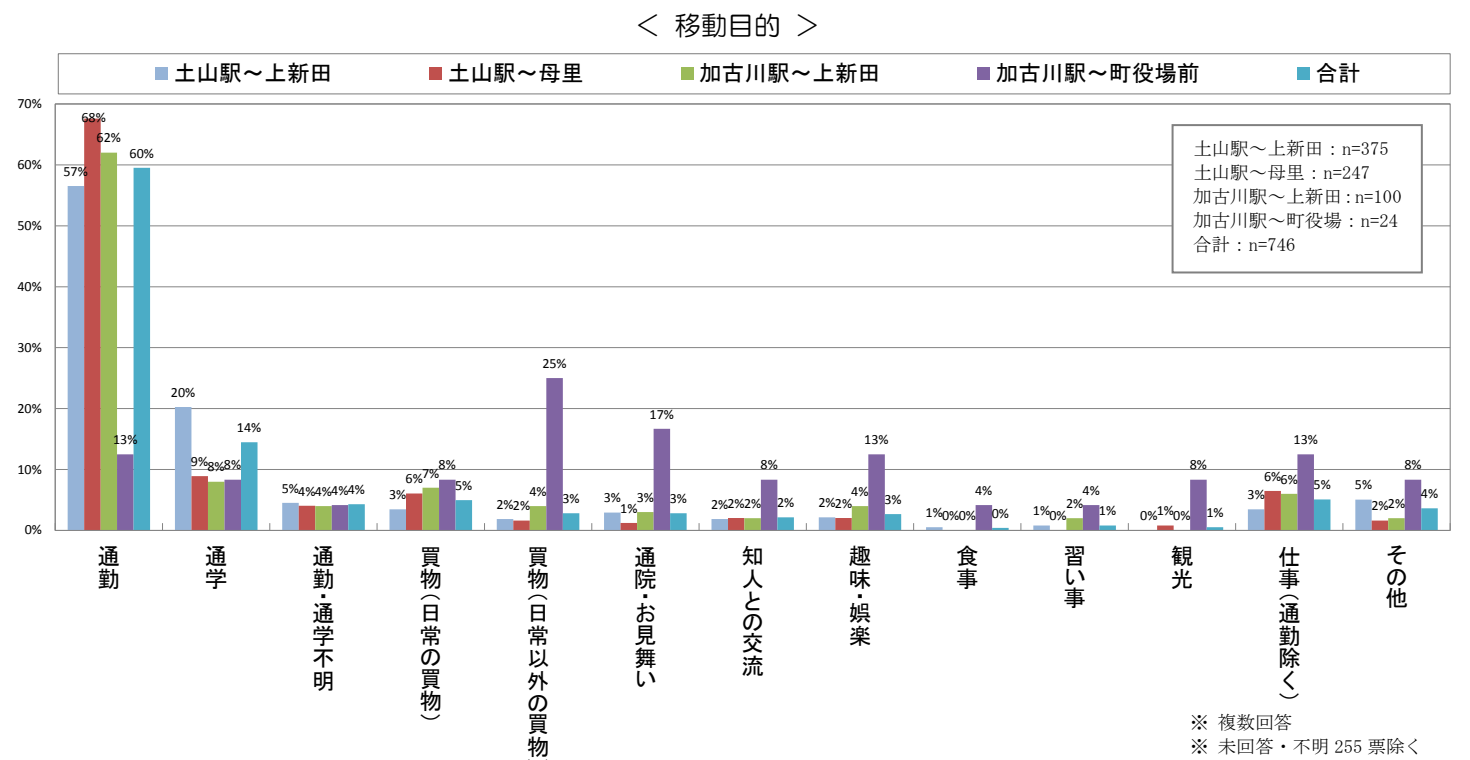
### (1) 利用者の主な属性

- 本町の路線バスは、どの年代でも満遍なく利用されており、そのうち65歳以上の高齢者は16%となっている。系統別では、「土山駅～上新田」では10歳代が多くなっており、県立加古川医療センターを経由する「加古川駅～町役場」では65歳以上の高齢者が多くとなっている。
- また、本町の路線バス利用者は、「運転免許を持っている」方が63%、「運転免許を持っていない（取得したことがない）」方が32%、「運転免許を持っていたが返納した」方が5%となっている。系統別では、高齢者の利用が多い「加古川駅～町役場」では運転免許返納者が25%と他と比べて多くとなっている。



### (2) 移動目的

- 本町の路線バスは「通勤」「通学」目的での利用が大半の78%を占めている。
- 系統別で見ると、10歳代の利用が多い「土山駅～上新田」では「通学」目的の利用が多くなっており、高齢者の利用が多い「加古川駅～町役場」では「買物（日常以外の買物）」「通院・お見舞い」「趣味・娯楽」目的の利用が多くなっている。

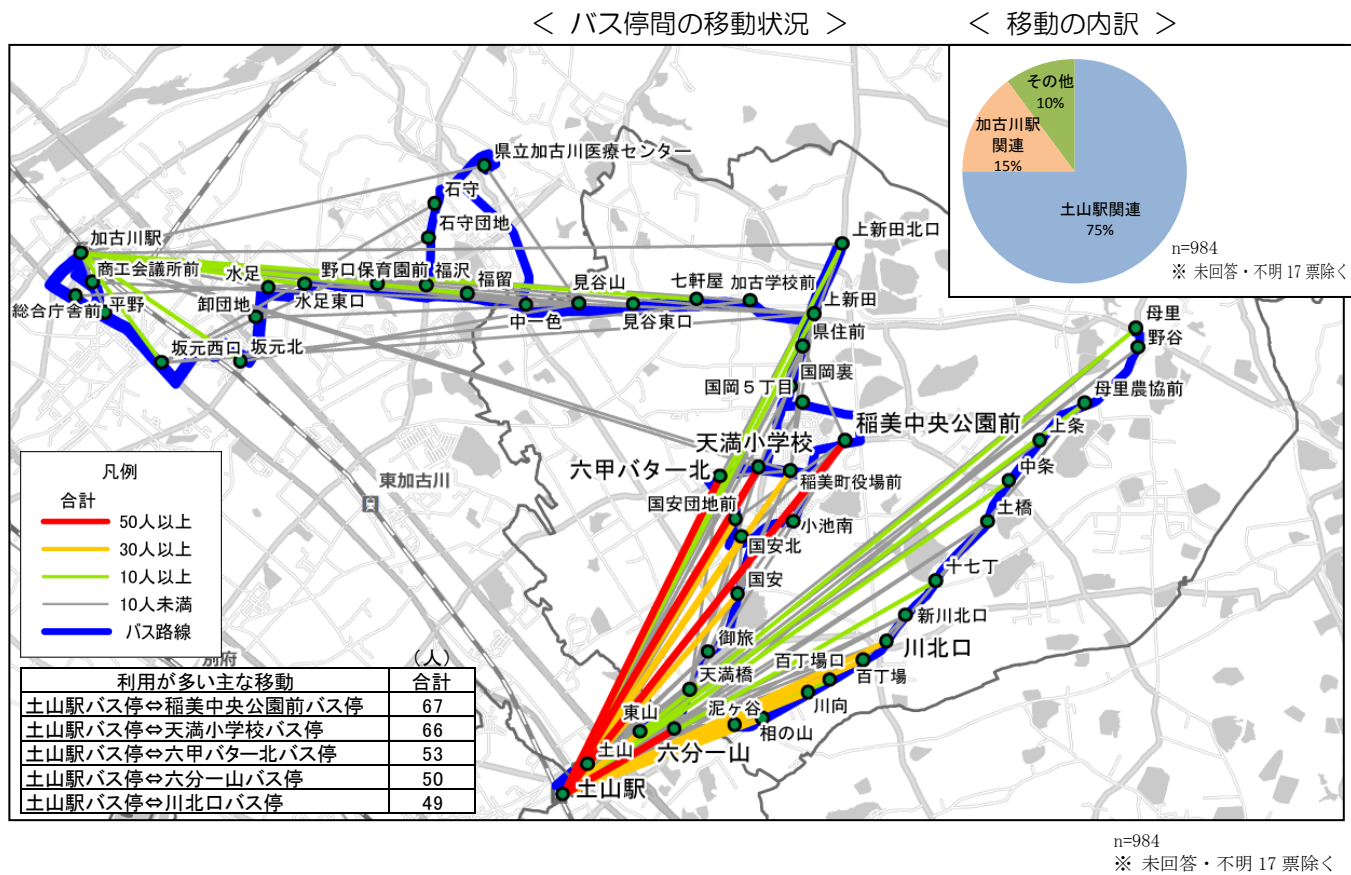


※ 複数回答  
※ 未回答・不明 255票除く

# 路線バス利用者アンケート調査結果【概要版】

## (3) バス停間の移動状況

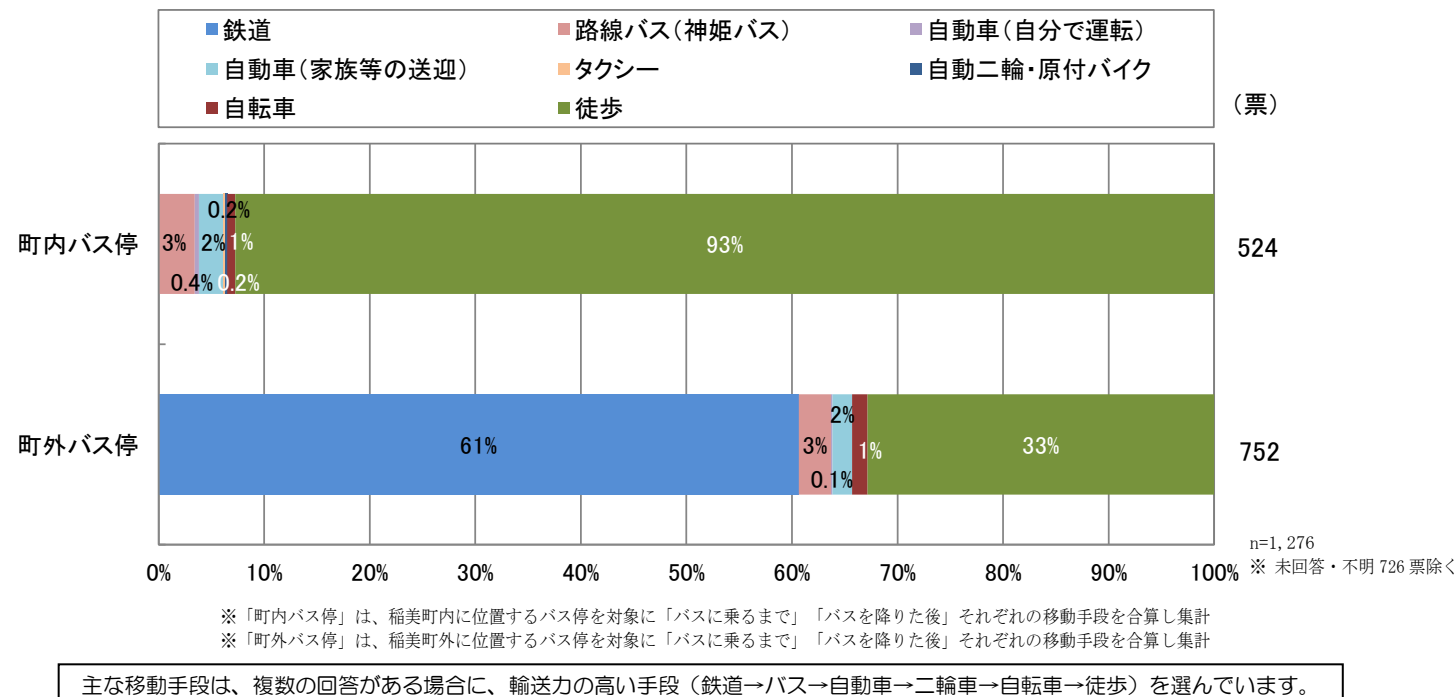
- 本町の路線バス利用は、JR 土山駅関連の利用が 75% を占めており、JR 加古川駅関連の利用が 15% であることから、本町の路線バス利用の大半は駅及び駅周辺への移動に利用されている。



## (4) バスに乗るまで・バスを降りてからの主な移動手段

- 町内のバス停までは「徒歩」で行き来している人が 93% であり、バス停近隣の自宅や施設を出発・目的地とした利用が多いことが分かる。
- また、町外のバス停で乗り降りしている人の 61% が「鉄道」との乗り継ぎと多くっており、町外のバス停を降りてからは「徒歩」で目的地まで行っている人も 33% と多い。

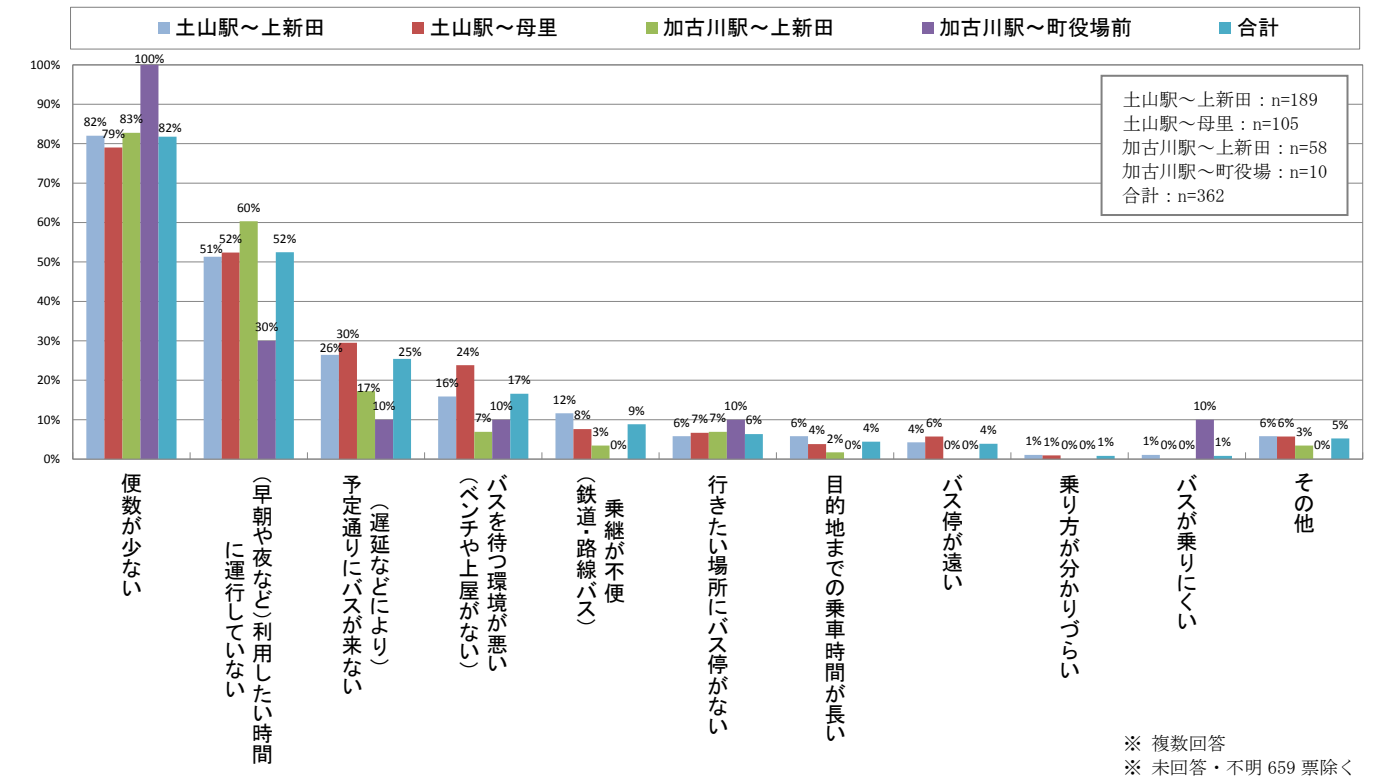
＜ バスに乗るまで・バスを降りてからの主な移動手段 ＞



## (5) 路線バス利用にあたる問題点

- 利用者が路線バスに対して感じている問題点は、「便数が少ない」や「(早朝や夜など)利用したい時間に運行していない」が多くなっており、運行する便数や時間に対する不満が多い。
- 系統別で見ると、JR 土山駅と接続する「土山駅～上新田」と「土山駅～母里」では「(遅延などにより) 予定通りにバスが来ない」が約 3 割と比較的多くなっており、バスの遅延に対して不満を感じている方が多い。

＜ 路線バス利用にあたる問題点 ＞



## (6) 路線バスが無かった場合の移動手段

- 路線バスが無かった場合、路線バス利用者の 30% が「目的地に行けなくて困る」と回答しており、路線バスが住民の生活に必要なものになっているといえる。また、路線バスが無い場合は、「自転車」、「自動車(家族等の送迎)」で移動するという回答も多くなっている。
- 年齢別で見ると、65 歳以上の高齢者では「目的地に行けなくて困る」と回答する割合が多くなり、「タクシー」で代替する回答も多い。一方で、10 歳代では「自転車」が 49% と多いものの、「自動車(家族等の送迎)」も 39% と多くなっていることから、路線バスが家族等の送迎負担軽減にも寄与しているといえる。

＜ 路線バスが無かった場合の移動手段 ＞

